

循環器内科専門医に聞く

循環器内科副部長 **くわはら ひろゆき**
桑原 弘幸



息切れと心臓病 ～弁膜症と最新の治療について～



初めまして、今年4月に労災病院に赴任した循環器内科医師の桑原です。

さて、最近息切れが気になる方はいらっしゃいますか？息切れの原因として、狭心症、弁膜症、心不全といった心臓病が原因のことがあります。

その中でも今回は、弁膜症についてお話ししたいと思います。テレビでも『それ弁膜症が原因かも』というフレーズのCMがあるので目にした方もいらっしゃるかと思います。弁膜症とは、弁という心臓の血液の通り道についている蓋がなんらかの原因で開きにくくなったり、逆に閉まりにくくなったりして血液が通りにくかったり、逆流してしまうことで息切れ、浮腫などの症状が出る病気です。

弁膜症には重症度があります。軽症や中等症では、経過観察や薬物治療になります。しかし、重症になると薬でも病気のコントロールが難しく手術やカテーテル治療が必要になります。

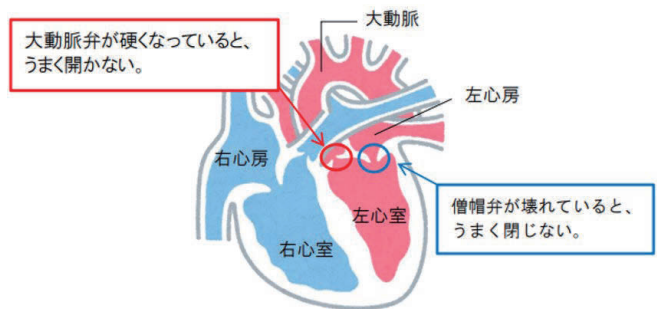
代表的な弁膜症に大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症という弁膜症があります。今までは外科的手術でしか治せない病気でしたが、昨今では体の負担が少ないカテーテル治療が可能になりました。具体的に言うと、TAVIという大動脈弁狭窄症に対する治療とMitra Clipという医療機器を使用した僧帽弁閉鎖不全症に対する治療です。

TAVIは、主に鼠径部（足の付け根）から人工弁付きのカテーテルを血管に入れて開きにくくなった大動脈弁を人工弁に置き換える治療です。新しく替えた人工弁により元気な心臓になります。

Mitra Clipは、鼠径部から血管にカテーテルを入れて心臓までカテーテルを運び、しっかり閉まらなくなり血液が逆流してしまう僧帽弁をクリップでつまんでちゃんと閉じるように治す治療です。それにより、血液の逆流がなくなったり、少なくなったりして元気な心臓になります。どちらも低侵襲なので、主に体力的に手術が難しいような高齢者に対して主に行われます。歳だからといって治療を諦めなくても良くなりました。

今までは、手術できない患者さんの心臓病は治せないことがありましたが、これからは進歩している循環器治療でどんな心臓病でも直せる時代になっていくと思います。

最近、息苦しいと感じる患者さんは是非循環器内科を受診して下さい。労災病院を受診して頂ければ原因を詳しく調べます。皆さんが元気に長生きできるようサポートできればと考えています。皆さん今後ともよろしくお願ひします。



発行：独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページ（URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/dayori/>）

にも掲載しています。

【お問い合わせ先】TEL(0765)-22-1280（病院代表）

E-mail chiiki2@toyamah.johas.go.jp



▶バックナンバーはこちらの

QRコードからも確認できます。